

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス山麓森のわさびによる森林活性化プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	北アルプス山麓わさび生産組合 (TEL 0261-62-3053)
事業区分	森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	443,935 円 (うち支援金 : 355,000 円)

#### 事業内容

放任化が進み、周辺田畑等への野生動物による獣害が増加している近年の森林において、林間地の適度な遮光と冷涼な気候が適する陸わさび栽培を振興して、森林の再生と活性化を目指す。

そこで、以下について取り組む。

- ① 林間地ほ場の生産性を高めるため、昨年度の土壌分析結果に基づく土づくり(有機質の施用等)を推進。
- ② 林間地で発生する害虫の防除体系での栽培。
- ③ 林間地で生産された「森のわさび」を使った、加工品の試験販売。



【試作販売したおやき】

#### 事業効果

- ① 林間地における陸ワサビほ場の土壌分析結果をもとに、収穫量の増加を目指し有機質(堆肥)を宣布した。
- ② 陸わさびの認知度向上のため、わさびの花の摘み取り会を実施。
- ③ 良質苗の供給に向け、種子と培土を購入し、生産拡大を図っている。
- ④ これまで試作してきた陸ワサビを用いた「わさびおやき」の改良し、観光大学と同時に開催した北アルプス山麓ブランド物産展で試験販売を実施し、予定の100個を完売できた。
- ⑤ 調理講習会等消費者向けの講習会は、新型コロナウイルス感染拡大の観点から中止した。

#### 【目標・ねらい】

- ① 獣害を軽減(緩衝帯効果)
- ② わさびにあった土壌改良し、生産量の増加する
- ③ 森林再生へわさびの栽培が有効だと理解を広める

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

- ① 鳥獣害被害抑制に向けた効果は明らかであるが、生産拡大までつながらなかった。
- ② 加工品が試験販売まで実施できた。

#### 今後の取り組み

- ① 陸ワサビ栽培による獣害の抑制や森林の活性化に向けて、生産拡大を目指すため、J Aの部会組織に移行し、生産拡大に力を入れることとした。
- ② 加工品については「わさび入りおやき」を試作販売品する事が出来、一定の成果だ出せたと考える。今後は、加工委託先と量産化に向けた検討を進めていきたい